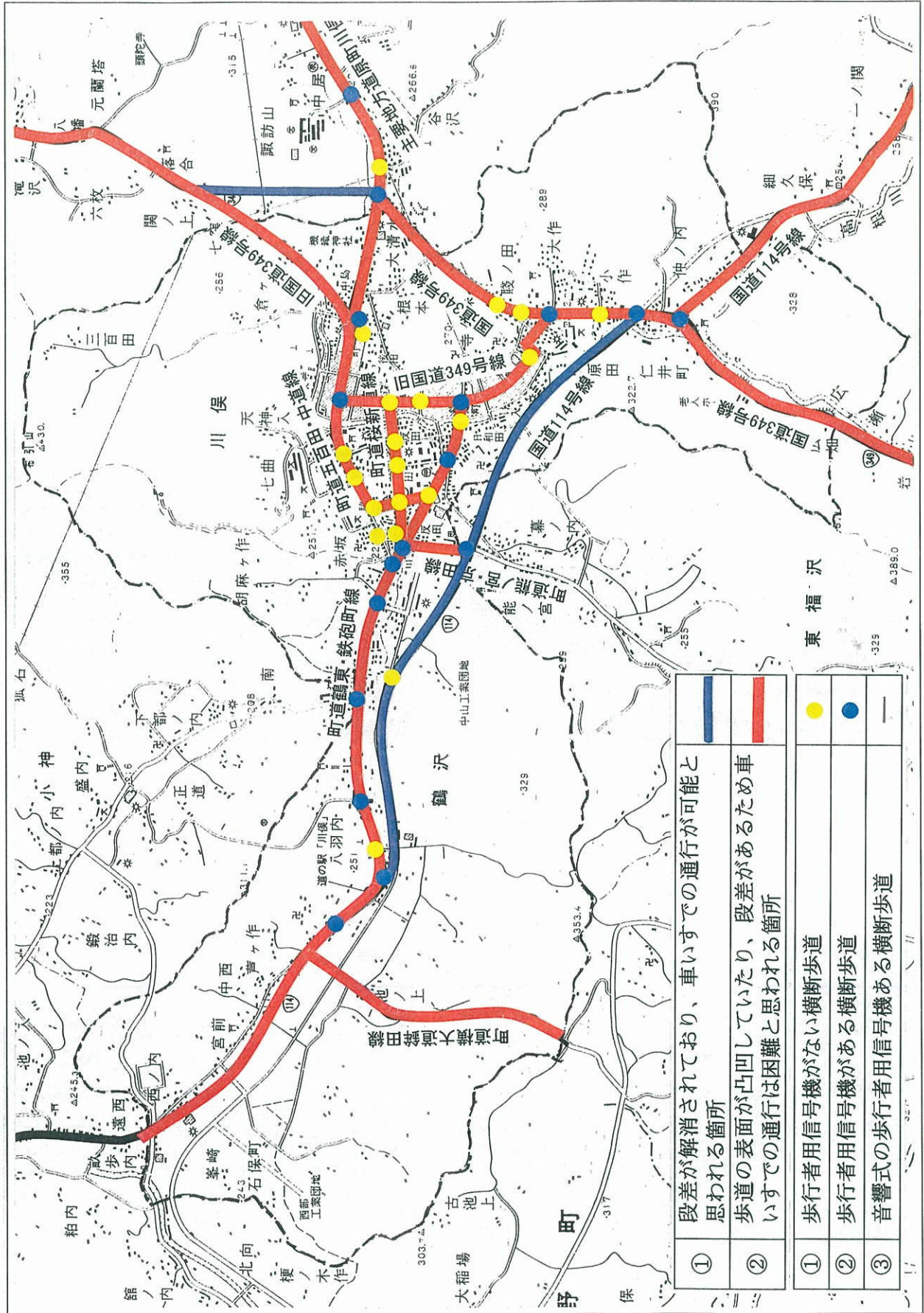
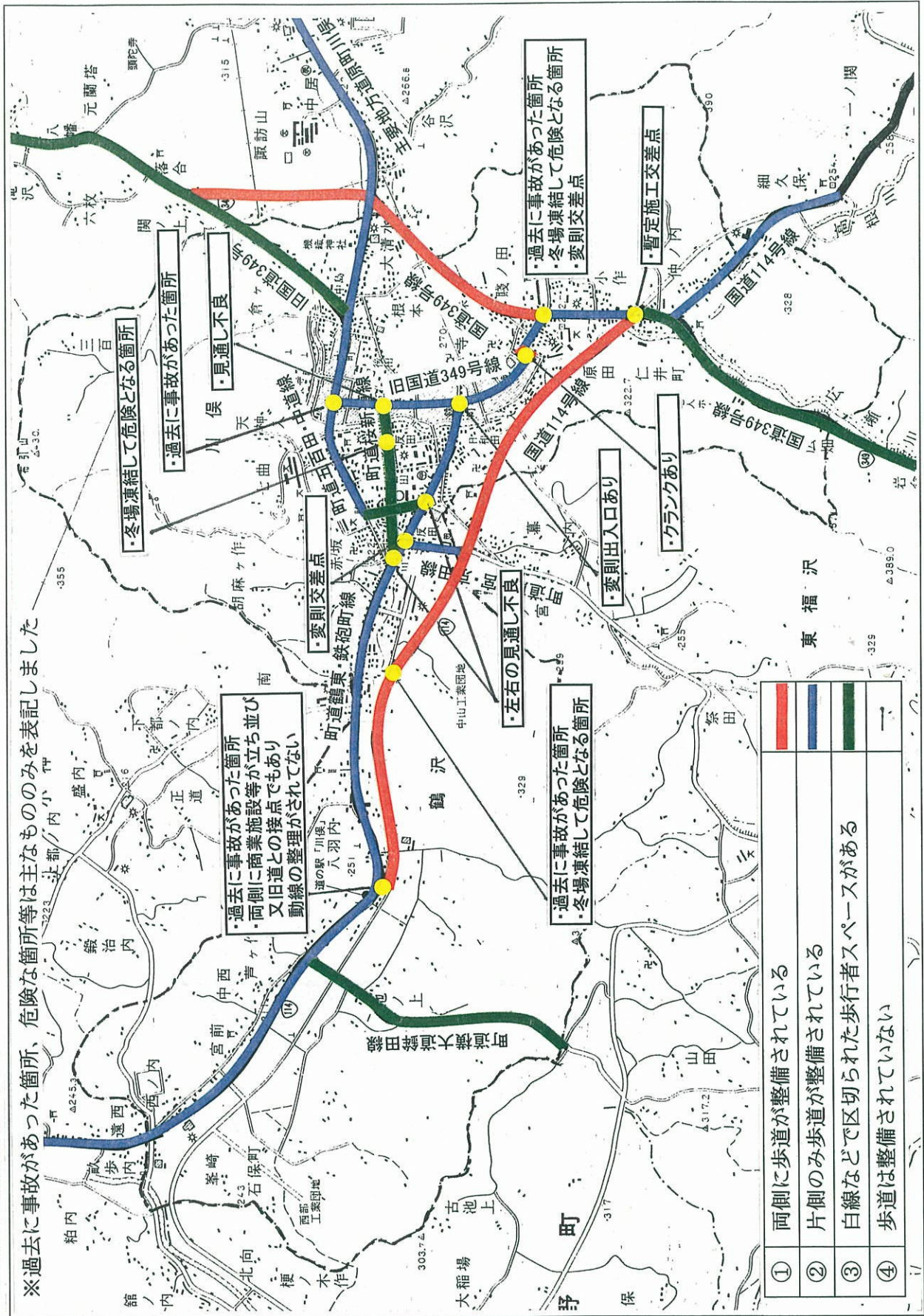


＜道路現況調査結果マップ＞



＜道路現況調査結果マップ＞

※過去に事故があった箇所、危険な箇所等は主なもののみを表記しました



①	両側に歩道が整備されている
②	片側のみ歩道が整備されている
③	白線などで区切られた歩行者スペースがある
④	歩道は整備されていない

②公共交通について

川俣町の唯一の公共交通であるバスは、現在下表の6路線が運行されています。中心市街地である川俣地区と周辺市町村を結ぶこれらの路線は、車を運転しない人や子供等の交通弱者が通勤・通学に多く利用しています。

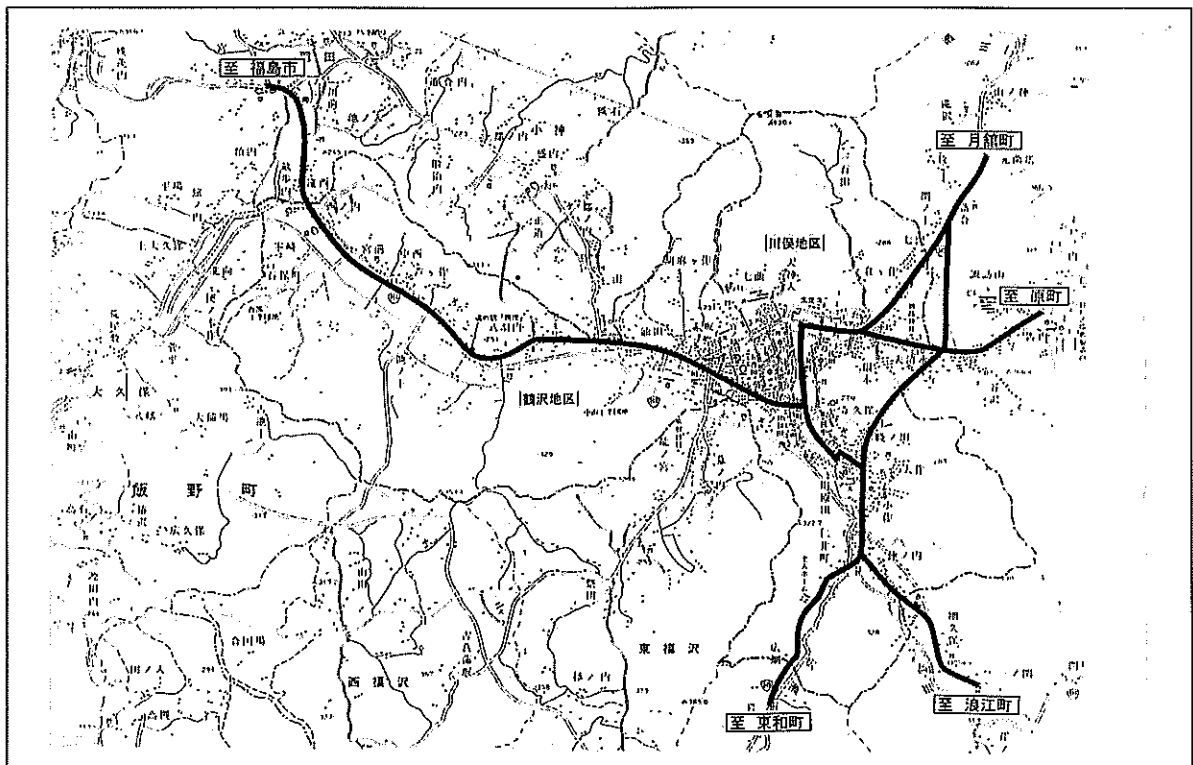
本計画で実施した町民意識アンケートから、医療機関への通院で利用する人や高齢者にとって、吹きさらしのバス停留所やバスの乗降口ステップの高さ等が大きな負担となっているとの声が聞かれました。

バス停留所についてはベンチや屋根、風除けの設置、公共施設内にバス待合所の設置等を望む声も多く挙がっており、高齢者等の負担を軽減すると共に、冬場の寒さの中でバスを待たずにすむような改善が望まれています。

バスの乗降口のステップについては、低床バスやノンステップバス等の導入により、負担を低減することが可能で、現在JRバスでは7台の低床バスを導入し運行しています。

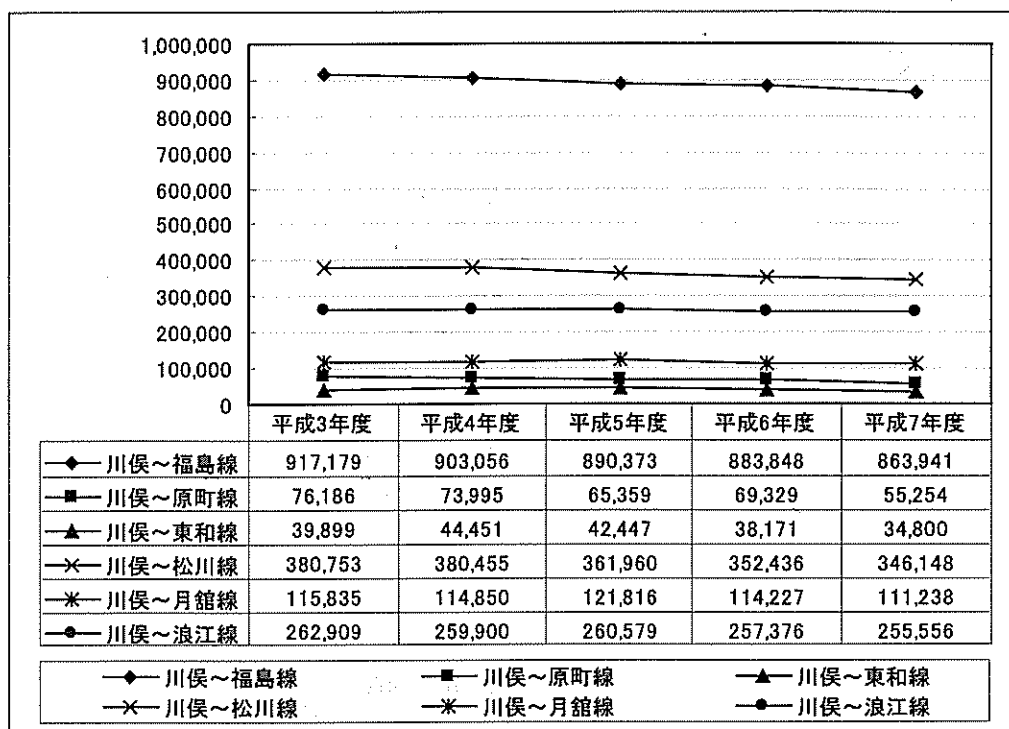
路線バス区間	町内停留所数	
	JRバス	福島交通バス
川俣～福島 (24.1km)	16	18
川俣～松川 (16.4km)	13	14
川俣～浪江 (53.5km)	24	
川俣～原町 (42.1km)		12
川俣～東和 (10.4km)		16
川俣～月舘 (11.5km)		16

町内のバス停留所数【出典：平成8年度版川俣町統計書】



モデル地区内のバス路線図

路線バスの年間乗降客数の推移をみると全路線減少傾向にあります。町民の間からもバスの運行本数・路線の減少を懸念する声が聞かれます。



バスの年間乗降客数の推移（J Rバス、福島交通の合算）【出典：平成8年度版川俣町統計書】

第4次川俣町振興計画により、現在川俣町では町内コミュニティバスの運行を検討しており、これにより現在のバス路線から外れている地域や車を運転しない人や子供等の交通弱者に利用しやすい環境が整備され、主要公共施設や医療施設等への安定した交通手段が確保される予定になっています。

町内コミュニティバスの運行に際しては、ふれあい福祉ゾーンの整備や町の施設整備状況にあわせた停留所の設置、運行本数、停留所環境の整備も重要な課題の1つです。